

○ 基本計画

基本計画の見方

基本計画は、5つの分野の基本目標ごとに整理しており、施策ごとに見開きページで下図に示す構成でまとめています。

【施策の目標】

・当該ページの施策に関連する現状と10年間の計画を進めていく中で、施策として、目指していくべき方向性を記載しています。

【現状と課題】

・施策に関連する本市における現状や課題を記載しています。

・施策に関連深いSDGsを提示し、それぞれの達成すべき目標・あるべき姿について記載しています。

【市民満足度調査結果】

・平成30年度と令和2年度に実施した市民満足度調査結果の比較を行っています。

1-①
住みやすい都市空間づくり

【施策の目標】

市民がまちなかに安心して暮らせる状態にします

【現状と課題】

伊予市では、「伊予市文化交流センター」を中心拠点・文化交流拠点として整備し、回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を進めています。

しかしながら、中心市街地は、空き店舗・空地が増加し、都市の空洞化が進んでいます。また、商店街の道路は十分な歩行空間が確保できていないにも関わらず通過車両が多いのが現状です。

社会実験を通じて道路のエリアマネジメントを改善し、歩行空間を確保する必要がありますが、地域住民との合意形成が課題となっています。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓		誰もが住みやすい居住空間づくりと誰もが使いやすい公共スペースづくりにより、全ての人々が住み続けたいと思える都市空間づくりを目指します。
↓		中心市街地における徒歩・自転車通行者と自動車との交通のすみ分け、子どもから高齢者まで幅広く集える広場空間を創造し、全ての人々が健康で住み続けられる都市空間づくりを目指します。
↓		中心市街地の活性化により、働きがいのある雇用が促進できる空間づくりを目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



基本目標1 快適空間都市の創造

【関連プロジェクト】

【関連プロジェクト】

・基本構想で示した「未来戦略プロジェクト」の中で、当該ページの施策と関連性のあるプロジェクトを記載しています。

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘要
主要幹線道路の整備促進	地域住民及び道路利用者の利便性の向上を目指し、国道・県道・主要市道等の整備促進を図ります。

【取組の方針と主要な事業】

・目指すべき方向性や課題を踏まえ、それらを実現していくに当たっての取組の方針と主要な事業名について記載しています。

主要な事業

- ・国道未整備区間整備事業
- ・県道及び市道整備事業

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
国道未整備箇所数を目標値まで減らします。	箇所	4箇所 (平成27年度)	1箇所
県道未整備箇所数を目標値まで減らします。	箇所	12箇所 (平成27年度)	4箇所
市道未整備箇所数を目標値まで減らします。	箇所	5箇所 (平成27年度)	3箇所

【重要業績評価指標(KPI)】

・目指すべき方向性と取組の方針を受け、達成すべき KPI を設定しています。現状で把握できる数値と目標値を掲げ、目標達成に向け取り組みます。

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki1-2.html>



・QR コードを記載し、計画に関連する内容が伊予市ホームページで見ることが出来ます。

【施策の目標】

市民がまちなかに安心して暮らせる状態にします

【現状と課題】

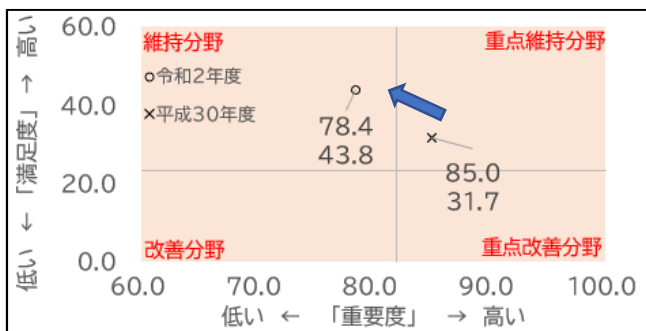
伊予市では、「伊予市文化交流センター」を中心拠点・文化交流拠点として整備し、回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を進めています。

しかしながら、中心市街地は、空き店舗・空地が増加し、都市の空洞化が進んでいます。また、商店街の道路は十分な歩行空間が確保できていないにも関わらず通過車両が多いのが現状です。

社会実験を通じて道路のエリアマネジメントを改善し、歩行空間を確保する必要がありますが、地域住民との合意形成が課題となっています。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	11 住み続けられるまちづくりを	誰もが住みやすい居住空間づくりと誰もが使いやすい公共スペースづくりにより、全ての人々が住み続けたいと思える都市空間づくりを目指します。
	3 すべての人に健康と福祉を	中心市街地における徒歩・自転車通行者と自動車との交通のすみ分け、子どもから高齢者まで幅広く集える広場空間を創造し、全ての人々が健康で住み続けられる都市空間づくりを目指します。
	8 働きがいも経済成長も	中心市街地の活性化により、働きがいのある雇用が促進できる空間づくりを目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】
快適環境改善プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
都市のコンパクト化の推進	都市部の人口密度を維持するため、立地適正化計画における居住誘導区域にゆるやかに居住の誘導を図ります。
中心市街地活性化の促進	歩きやすい「まちなか」を実現するため、社会実験などを通して地域住民との合意形成を図ります。
老朽施設の更新・修繕及び新たな広場づくりの推進	公園施設の計画的な更新・修繕に努めるとともに、幅広い世代が集える広場空間を創造し、コミュニティ活動の維持・推進を図ります。

主要な事業

- ・松山広域都市計画区域マスタープラン改訂
- ・立地適正化計画改訂
- ・都市再生整備計画事業
- ・都市防災総合推進事業
- ・公園長寿命化計画事業
- ・市民のふれあい広場整備事業
- ・景観形成推進事業

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
市街化区域内の人口を維持します。	人	15,329人 (平成27年度)	15,329人
中心市街地の一日当たりの歩行者数を増やします。	人	1,400人 (令和元年度)	1,700人
中心市街地にポケットパークを整備します。	件	1件 (令和2年度)	3件
道路交通社会実験を実施します。	回	1回 (令和元年度)	3回

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki1-1.html>



【施策の目標】

誰もが安心して通行できる状態、快適に移動できる交通体系を構築します

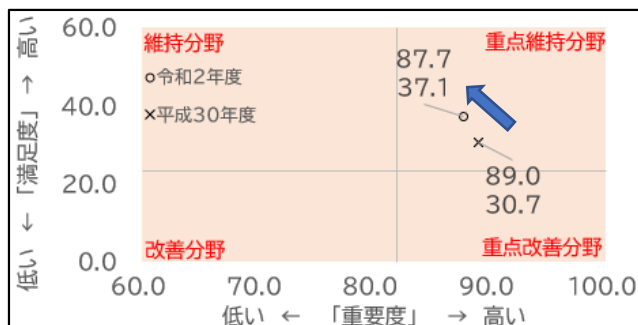
【現状と課題】

伊予市内には、JR 予讃線の内子線と愛ある伊予灘線の2線が走っており、中心部には松山市内からの伊予鉄道郡中線が敷設されています。広域幹線道路としては、国道56号と378号、高速道路としては、四国縦貫自動車道の伊予インターチェンジと中山スマートインターチェンジがあり、アクセスが良いことから多くの利用があります。国道56号においては「大平から中山間」、国道378号においては、「三秋から高野川間」の整備が停滞しており、早期完成に向けた国・県への要望や協力が必要です。

伊予地域では、5年間の実証運行期間を経て、令和2年度からコミュニティバスの本格運行を開始しました。中山地域・双海地域では平成23年度からデマンドタクシーを運行しており、生活を支える移動手段として親しまれています。様々な手法を講じながら周知・啓発には努めていますが、利用が伸びない状況であり、運行財源の確保も大きな課題となっています。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	11 住み続けられるまちづくりを	低コストな公共交通網を整備し、市内のどこに住んでいても移動の不便さを感じない環境づくりを目指します。
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	主要幹線道路の複線化、及び歩道・自動車道の整備を進めます。
	3 すべての人に健康と福祉を	歩行者に安全安心な道路環境が整い、福祉サービスが受けやすい交通網づくりを目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】
快適環境改善プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
主要幹線道路の整備促進	地域住民及び道路利用者の利便性の向上を目指し、国道・県道・主要市道等の整備促進を図ります。

主要な事業

- ・国道未整備区間整備事業
- ・県道及び市道整備事業

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
国道未整備箇所数を目標値まで減らします。	箇所	4箇所 (平成27年度)	1箇所
県道未整備箇所数を目標値まで減らします。	箇所	12箇所 (平成27年度)	4箇所
市道未整備箇所数を目標値まで減らします。	箇所	5箇所 (平成27年度)	3箇所

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki1-2.html>



【施策の目標】

「デジタルで全市民とつながる伊予市」の実現に向け、住み続けられる基盤づくりの推進を行うとともに、市民の行政手続きに係る負担を軽減します

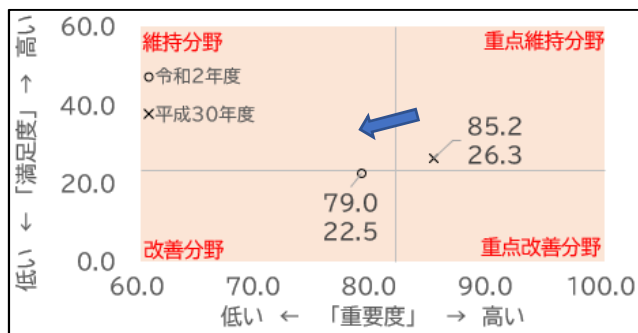
【現状と課題】

近年、各種情報のデジタル化やインターネットなどの普及・発達により、社会に流通している情報量が加速度的に増加しており、メディアの世代交代や構造変化も急速に進展しています。市内の情報通信基盤の整備を推進し、定住促進や教育環境の向上、産業振興など多面的な環境整備に取り組む必要があります。

行政手続きをオンライン化するとともに、行政手続きの統一や簡素化を行い、いつでもどこでも行政サービスが受けられる仕組みづくりが求められています。また、業務ツールやシステム環境の整備を実施し、迅速な施策の推進を図り、新しい働き方に取り組む必要があります。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	16 平和と公正をすべての人に	市内全域の情報基盤の整備を視野に、誰もが安価で接続・利用できる状態を目指します。
	4 質の高い教育をみんなに	市内全域の情報基盤整備を推進するとともに、世代間の行政サービスに対するギャップの解消や、ネットワーク整備に伴うリスクについても認識できる環境を目指します。
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	最新の情報ネットワーク網の整備に努め、市内の事業者が所得を向上できる状態、新たな起業が可能な環境づくりを目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】

情報発信強化プロジェクト
未来技術の活用プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
情報発信の強化と行政のデジタル化の推進	情報発信の充実を図り開かれた市役所を目指すとともに、行政手続きのデジタル化を図り住民本位の形でのサービス提供に取り組みます。
情報通信基盤整備の促進	新たな日常を支える情報通信基盤構築に向け、市内全域の情報ネットワーク網の整備に取り組みます。
行政のデジタル変革の実践	住民がデジタル化の恩恵を受けられるよう、業務の可視化と BPR の推進を図るとともに、職員のデジタルリテラシーの向上、業務ツール・システム環境整備に取り組みます。

主要な事業

- ・誰もがつながる情報発信コンテンツ強化事業
- ・市内全域での情報ネットワーク環境整備事業
- ・行政手続デジタル化事業

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
ホームページ訪問者数を増やします。	人	38,000 (令和元年度)	80,000
プッシュ型ユーザ登録数を増やします。	人	799 (令和元年度)	2,000
情報ネットワーク網を整備します。	%	95.12 (令和2年度)	100
キャッシュレス決済件数を増やします。	件	116 (令和元年度)	1,500

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki1-3.html>



【施策の目標】

市民が安心・安全な水の利用ができる環境、また水処理の心配がなく暮らせる環境をつくります

【現状と課題】

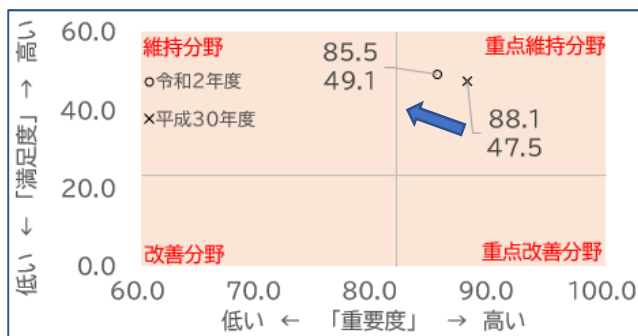
【水道】伊予市の上水道の1日平均配水量は、11,036 m³/日（平成30年度実績）であり、これまでの最大使用量（平成13年度：12,276 m³/日）を考えると、当面は安定供給ができるものと想定されます。

近い将来、南海トラフ地震の発生が予想される中、本市の上水道の基幹管路には耐震性が低く、老朽化が進んでいるものがあり、災害に強い耐震管への更新が喫緊の課題となっています。

【下水道】污水处理については、公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽整備事業等の実施、また市街地の浸水防除対策として、3つの雨水ポンプ場の整備により生活環境の保全に努めています。近年の異常気象による降雨に対し、雨水ポンプ場整備については、ストックマネジメント計画を策定し、施設の更新、改修、修繕を行う必要がありますが、莫大な整備費用が想定され、雨水公費・汚水私費負担の原則により、財源の確保が課題となっています。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	6 安全な水とトイレを世界中に	基幹管路の耐震化率を向上し、大規模災害に強い水道施設を構築します。 雨水ポンプ場を設備更新し、浸水防除に努めます。
	17 パートナーシップで目標を達成しよう	重信川流域の自治体による地下水の保全について協議・検討ができるよう、関係市町の連携を深めます。
	15 陸の豊かさも守ろう	手入れのされていない山林を減らし、急激な気候変動に耐えうる山林の範囲を増やし、水源の涵養等の環境整備を目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】
快適環境改善プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
浸水防除対策の促進	大規模浸水を防除するため、雨水ポンプ場施設の更新を行います。

主要な事業

- ・
- ・
- ・雨水ポンプ場施設の更新工事

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
雨水ポンプ場施設の更新率	%	53.5 (令和2年度)	100

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki1-5.html>



【施策の目標】

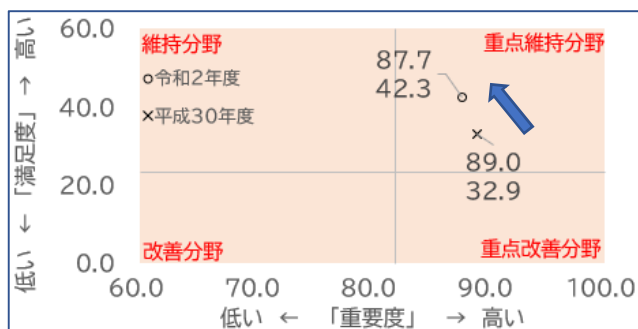
市民のライフスタイルに合わせた健康的な生活習慣を確立し、いつまでも元気で生き生きと過ごせる環境づくりを推進します

【現状と課題】

本市では、中学生までの医療費を助成する制度や重度心身障がい者等に対する医療費助成制度、国民健康保険、後期高齢者医療制度などにより、市民の医療を支えています。また、伊予市健康づくり・食育推進計画に基づき、健康寿命の延伸と食育の推進を目標に、市民みんなでつくる健康のまちを目指しています。しかし、本市の特定健診やがん検診は受診率が低いことから、健康寿命の延伸に重要となる病気の早期発見・早期治療、重症化予防対策に結びつけにくい状況にあります。また、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用者が少なく、医療費の増大につながっています。そのため、市民一人ひとりが健康意識を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、地域や関係機関とより一層の連携を図っていく必要があります。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる世代の市民が健康意識を高め、病気の発症や重症化を予防することで、子どもから高齢者まで、いきいきと笑顔が絶えない健康のまちを目指します。
	4 質の高い教育をみんなに	乳幼児期から高齢期に至るまで、それぞれの年代の特徴や課題に応じた健康づくりを進め、生涯にわたり健康意識を持ち続けることができる社会を目指します。
	2 目標をゼロに	あらゆる世代の市民が健康意識を高め、病気の発症や重症化を予防することで、子どもから高齢者まで、いきいきと笑顔が絶えない健康のまちを目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】
情報発信強化プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品の使用を促進し医療費の抑制に努めます。

主要な事業

- ・
- ・
- ・保健衛生普及事業（ジェネリック医薬品の使用促進に繋がる情報提供や周知啓発）

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
国民健康保険におけるジェネリック医薬品の使用割合を増やします。	%	73.5 (令和元年度)	80.0

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki2-2.html>



3-①




学校教育環境の整備・充実

【施策の目標】

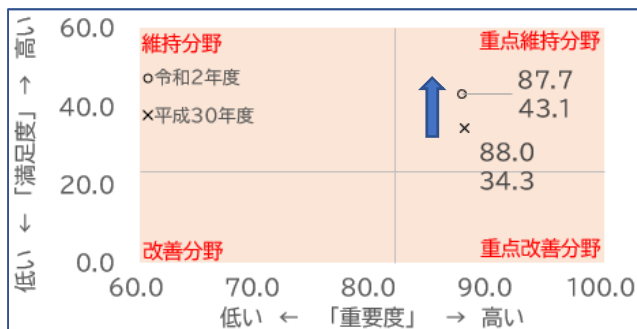
子どもを愛し、育て、将来子どもが帰ってくるまちを目指します

【現状と課題】

市内には、市立幼稚園2園、小学校9校、中学校4校があります。児童生徒数に大きな差が生じるとともに、近年、児童生徒の学びの意欲や学力・体力の二極化が進展しています。そのような状況下において、公平で質の高い学習の提供、またふるさとを愛する心を育んでいかなければなりません。全国的にも積極的なICTの活用が求められる中、ICT機器の導入やプログラミング教育や情報教育といった教育環境の整備に努める必要があります。また、安全安心な学校給食を提供することで、児童生徒の健全な体の発達に寄与することも必要です。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	質が高く、効果的な学習を提供し、時代に即した人材を育成できる教育環境を整えます。
	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	人と人とのコミュニケーションは残しつつ、情報通信技術を大幅に向上させます。
	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	教育に対する財政的、技術的、人的支援を通じて、住み続けられるまちづくりを進めます。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】

快適環境改善プロジェクト
地域資源掘り起こしプロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
学力及び体力の向上	全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力調査の結果を活用し、児童生徒への教育内容の充実に努めます。
人権教育の推進	様々な人権問題の解決のため、学校・家庭・地域が連携した教育及び啓発活動・相談体制の充実に努めます。
安全・安心な学校給食の提供	学校給食摂取基準に定められたエネルギー摂取基準を充たす学校給食を提供し、児童生徒の体の健全育成に努めます。また、食材の安全性を確保するために、「地産地消」を推進します。

主要な事業

- ・幼稚園、小中学校施設営繕事業
- ・学力到達度診断テスト実施事業
- ・学校生活支援員設置事業

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
全国学力・学習状況調査結果の向上を目指します。(小学校)	ポイント	県平均正答率より-1.0 (令和元年度)	県平均正答率より+1.0
全国学力・学習状況調査結果の向上を目指します。(中学校)	ポイント	県平均正答率より+1.3 (令和元年度)	県平均正答率より+2.0
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の向上を目指します。(小学校)	点	県平均点より-1.225 (令和元年度)	県平均点より+1.00
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の向上を目指します。(中学校)	点	県平均点より+1.810 (令和元年度)	県平均点より+2.00
伊予市産の食材の学校給食への使用率の向上を図ります。	%	23.9 (令和元年度)	30.0

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki3-1.html>



5-①

市民が主役のまちづくり

【施策の目標】

市民と企業、行政が強くつながり、互いの考えを共有できる環境を目指します
地域住民と移住者が未来に向けて助け合い、幸せな地域づくりを目指します

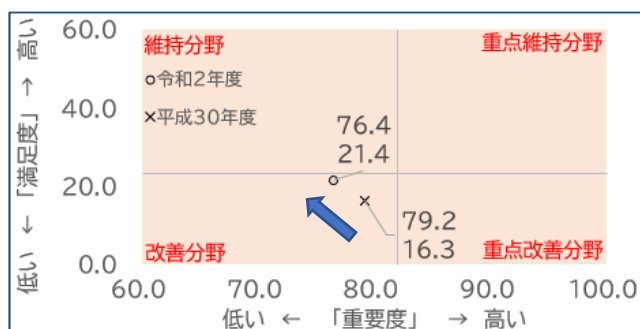
【現状と課題】

本市では、自治の基本理念や行政運営における方向性を定めた自治基本条例を制定し、市民自らが考え、共に助け合い、行動する住民自治のまちづくりを進めています。また、それぞれの地域で活動する住民団体と共に、人口減少や学校存続の地域課題の解決に向けた一手法として、移住・定住推進体制を構築し、着実な移住者の受け入れが進んでいます。

今後も市民の総意が地域・市全体に反映されるまちづくりを推進するため、住民自治組織や災害時の自治体と地域をつなぐ中間支援組織の設立を目指し、市民が主体となり、企業や行政との相互協力のもと、地域の実情に合ったまちづくりを行える環境を構築します。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	16 平和と公正をすべての人に	全ての人々がまちづくりに参加し、地域レベル、市全体レベルにおいて、住民の総意が反映されたまちづくりを推進します。
	10 人や国の不平等をなくそう	全ての人々がまちづくりに参加し、自分たちの地域に合ったまちづくりを推進するとともに、移住者が参画しやすく、誰も排除されない環境を目指します。
	5 ジェンダー平等を達成しよう	老若男女が関係なく参画し、お互いを尊重し、誰もが発言できる環境を目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】

人材活用プロジェクト
 移住定住推進プロジェクト
 コミュニティ形成プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
協働のまちづくりの促進	自治会、NPO、PTAや企業等、様々な活動目的をもった団体同士が地域で連携し、広い視点で一体となって自分たちで課題解決に取り組める、住民自治組織の結成を促進します。
中間支援組織の設立促進	平時には地域課題解決に取り組む各団体への助言や援助、災害時には様々な団体と行政の連携の核となる中間支援組織の設立を目指します。
地域リーダーの育成・自治活動のための環境整備	地域リーダー育成のための研修補助や集会所の改修費用の補助により、住民活動のための人材育成、環境整備を目指します。

主要な事業

- ・伊予市まちづくり交付金交付事業
- ・市政懇談会・ミニ懇談会制度
- ・伊予市広報区長協議会研修費補助事業
- ・伊予市集会所整備（改修等）補助事業

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標（KPI）	単位	現状把握値	目標値（R7）
住民自治組織を増やします。	団体	1 (令和2年度)	2
市政懇談会を実施します。	回	未実施 (令和2年度)	2
広報区長研修会を実施します。	回	1 (令和2年度)	1
集会所の改修等の実績を維持します。	箇所	5 (令和2年度)	4

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki5-1.html>






【施策の目標】

地域や職場における意思決定の場への女性参画割合を高めます

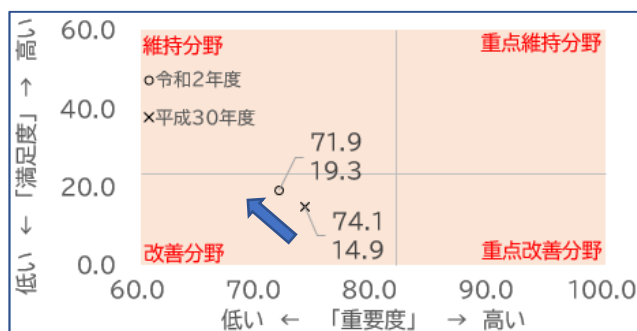
【現状と課題】

人々の価値観やライフスタイルが多様化する中、男女が対等な立場で、社会のあらゆる分野に参画し、責任を分かち合う社会の実現が重要となっています。本市は伊予市男女共同参画基本計画に基づき、様々な施策を実行しています。

今後も女性リーダーの充実のため、女性の人材育成とポジティブ・アクションに関する周知、啓発を並行して行う必要があります。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	 5 ジェンダー平等を 実現しよう	女性の参画割合が増加し、対等な立場で責任を分かち合う社会の実現を目指します。
	 16 平和と公正を すべての人に	地方自治法に基づく審議会や市議会における女性割合の増加など、目に見える形での男女共同社会の実現を目指します。
	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	市民、企業、行政の協力の下、目に見える形での男女共同参画社会の実現を目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】
 人材活用プロジェクト
 コミュニティ形成プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
ポジティブ・アクションの推進	固定的な男女の役割分担意識をなくす「ポジティブ・アクション」活動を企業や各団体へ周知、啓発し、地域や職場の方針決定過程に女性が参画しやすい環境を目指します。
人材の発掘や育成・指導者の養成	男女共同参画の視点を持ち、課題分析や発言ができる女性リーダーの育成のため、研修会の開催や関係講座への参加支援を行います。
女性団体同士の連携強化	構成員の高齢化や人材不足で悩んでいる女性団体のイベント紹介や人員募集といった情報を団体同士で共有し、相互の活動の活性化を図ります。

主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・伊予市女性リーダー育成委員会補助金交付事業 ・市政懇談会・ミニ懇談会 ・男女共同参画ネットワーク

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
市の管理職（課長級以上）における女性割合を増やします。	%	11 (令和2年度)	30
市の審議会等における女性割合を増やします。	%	23 (令和2年度)	35
男女共同参画に関する研修会を実施します。	回	2 (令和2年度)	4
男女共同参画ネットワーク加入団体を増やします。	団体	6 (令和2年度)	10

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki5-2.html>



5-③

効率的で透明性の高い行財政運営

【施策の目標】

様々な情報通信技術を活用した情報提供により、市民と行政の相互理解を高め、協働を加速します

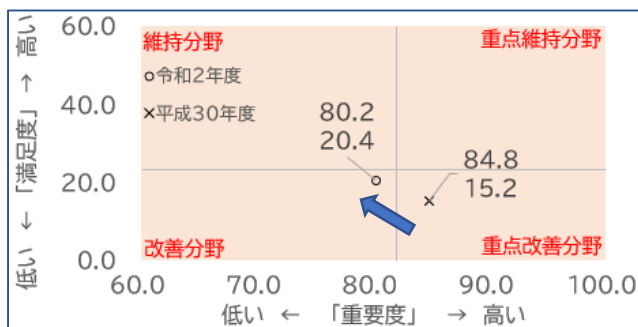
【現状と課題】

市では、事務事業評価を継続して実施しており、各事務事業の事業内容や費用負担について公開しています。また地方財政の状況がさらに厳しさを増す中、持続可能な財政基盤を確立するため、施設使用料や補助金の見直しを進めています。積極的な情報公開により、透明性を高めると共に、分かりやすい説明が必要になっています。

また多くの公共施設が老朽化を迎える中、住民の多様なニーズに応えつつも、複数の施設の統合や機能の複合化などの整理が必要となっています。携帯機器を始めとする技術的革新が進む中、市の公式ホームページの内容や公開方法を見直し、市民参画の機会を増やす必要があります。

優先度	関連深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓	16 平和と公正をすべての人に	政策や施策、財政状況の透明性と公正さが高い水準で確保され、市民参画による市民の意思が政策に高度に反映される状態を目指します。
	11 住み続けられるまちづくりを	公共施設の適正配置を進め、効率的な施設を行うことにより、必要性の高い公共サービスが持続できる状態を目指します。
	17 パートナリシップで目標を達成しよう	厳しい財政状況から変革するため、市民、企業、行政が積極的に協働し、相互理解を深める状態を目指します。

【市民満足度調査結果－重要度・満足度－】



【関連プロジェクト】
情報発信強化プロジェクト

【取組の方針と主要な事業】

取組の方針	摘 要
市の行財政情報を公表し透明性を高める	公式ホームページ上で、いつでも誰でも市の行財政情報へのアクセスを可能にします。(主に「行政評価」「予算状況」「財政状況の公表」「財政状況等一覧表」「健全化判断比率・資金不足比率」「地方消費税交付金の充当先」「財務書類」「経営比較分析表」の8種類を更新していきます)
自主財源の確保を推進する	公共施設等の使用料を定期的に見直します。ふるさと納税制度を活用して、市の魅力を市外に発信するとともに、寄附金による歳入の増を推進します。
公共施設の複合化、機能の集約化を推進する	施設の統合・整理や遊休施設の活用、施設機能の複合化などにより、機能を維持しつつ、施設総量を縮減します。

主要な事業

- ・公式ホームページで行政評価結果、予算編成・決算・財政状況等を公表する
- ・ふるさと納税制度を活用し、市外へ伊予市の魅力を発信する
- ・予算編成過程を通じて公共施設の複合化、機能の集約化を具体化する

【重要業績評価指標】

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状把握値	目標値 (R7)
公式ホームページで定期的に行財政情報を公表し、透明性を高めます。	種類	8 (令和元年度)	8以上
ふるさと納税の寄附額を増やします。	万円	4,571 (令和元年度)	4,800以上
公共施設の複合化、機能の集約化等を推進します。	件	年間1件 (令和元年度)	毎年1件以上
「将来負担比率」※の縮減を図ります。	—	64.1 (令和元年度決算)	64.0以下

※将来負担比率とは、一般会計、特別会計、一部事務組合、広域連合等に加え、地方公社や第三セクター等の損失補償まで拡大し、将来一般会計が負担する負債が、標準財政規模(元利償還金・準元利償還金に係る標準財政需要額算入額を除く)の何%になるかを表した数値。

詳しくはこちら⇒

<https://www.city.iyo.lg.jp/miraidukuri/sougoukeikaku/kouki5-3.html>

